

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床運動学			必修	2	3	前期
担当教員		研究室		電子メール ID	オフィスアワー	
高村 浩司 他		D307		takamura-pt	火曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	正常運動の構成要素に基づき、中枢神経疾患や運動器疾患の障害を有する対象者の姿勢や運動の仕組みを学ぶことを目的とする。この講義では、対象者の病的な動作と正常運動との差について指導する。また中枢神経疾患ならびに運動器疾患の典型的対象者の動作ビデオを診ながら動作分析の仕方を指導する。					
学習上の助言	この授業では特に運動学で学んだ知識が必要となるので、しっかり復習しておくこと。予習・復習で生じた疑問は、授業中・オフィスアワー等で早めに解決すること。					
教科書	15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト臨床運動学/総集編：石川朗/中山書店					
参考書	特に無し					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	正常運動について、運動学的視点から説明できる。				PT(1),(5)	
②	異常運動について、正常運動との相違を説明できる。				PT(1),(2),(5),(6)	
③	動作分析についてのレポート作成ができる。				PT(1),(2),(5),(6)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等			授業方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	姿勢・動作を理解するための運動力学について学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：動作分析の方法や目的についてレポートにまとめる。 提出した内容についてコメントする。意見交換の機会：メールにて受付			印刷教材等での授業	基礎運動学第6版に記載されている上肢、下肢の筋の作用について復習しておく。 4	
2	姿勢アライメントの定義と最適な姿勢について学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：最適な立位姿勢についてレポートにまとめる。 提出した内容についてコメントする。 意見交換の機会：メールにて受付			印刷教材等での授業	基礎運動学第6版に記載されている上肢、下肢の筋の作用について復習しておく。 4	
3	正常運動（寝返り・起き上がり）について学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：最適な立位姿勢についてレポートにまとめる。 提出した内容についてコメントする。 意見交換の機会：メールにて受付			印刷教材等での授業	立位、座位、臥位の支持基底面の身体重心について復習しておく。 4	
4	変形性股関節症に対する姿勢観察・分析について学ぶ [担当：関口賢人] フィードバック：姿勢観察・分析方法についてレポートにまとめる。 提出した内容についてコメントする。 意見交換の機会：メールにて受付			印刷教材等での授業	変形性股関節症の病態について復習しておく。 4	
5	変形性膝関節症に対する姿勢観察・分析について学ぶ [担当：関口賢人] フィードバック：姿勢観察・分析方法についてレポートにまとめる。提出した内容についてコメントする。 意見交換の機会：メールにて受付			印刷教材等での授業	変形性膝関節症の病態について復習しておく。 4	
6	変形性関節症に対する日常生活動作について学ぶ [担当：関口賢人] フィードバック：対象疾患の日常生活動作についてレポートにまとめる。提出した内容についてコメントする。 意見交換の機会：メールにて受付			印刷教材等での授業	変形性関節症の病態について復習しておく。 4	
7	正常運動（坐位姿勢・立ち上がり）について学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施			同時双方向型授業	座位、立ち上がり時の支持基底面の身体重心について復習しておく。 4	
8	正常運動（歩行）について学ぶ。 [担当：高村浩司] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施			同時双方向型授業	歩行の相（立脚相、遊脚相）について復習しておく。 4	
9	脳血管障害における病態運動学について実際の臨床場面を想定した動作分析法を学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施			同時双方向型授業	歩行の相（立脚相、遊脚相）について復習しておく。 4	
10	パーキンソン病における病態運動学について実際の臨床場面を想定した動作分析法を学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施			同時双方向型授業	パーキンソン病における病態について復習しておく。 4	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

11	脊髄小脳変性症などの運動失調症における病態運動学について実際の臨床場面を想定した動作分析法を学ぶ。[担当：高村浩司] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	脊髄小脳変性症における病態について復習しておく。	4
12	運動器疾患（上肢）に対する動作分析について実際の臨床場面を想定した動作分析法を学ぶ。[担当：関口賢人] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	肩関節周囲炎を中心とした上肢の運動器疾患について復習しておく。	4
13	運動器疾患（下肢）に対する動作分析について実際の臨床場面を想定した動作分析法を学ぶ。[担当：関口賢人] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	変形性股関節症を中心とした下肢の運動器疾患について復習しておく。	4
14	Rancho Los Amigos 方式による動作分析について実際の臨床場面を想定した動作分析法を学ぶ。[担当：関口賢人] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	基礎運動学第 6 版に記載されている Rancho Los Amigos の分析を復習しておく。	4
15	Klein-Vogelbach の運動学に基づいた動作分析について学ぶ。 [担当：関口賢人] フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	基礎運動学第 6 版について記載されている寝返り、起き上がり、立ち上がりの相について復習しておく。	4
試	定期試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	試験	①		
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

担当教員：◎高村 浩司、関口 賢人

教員の実務経験：主担当者は理学療法士として 28 年の実務経験有

実践的授業の内容：運動器ならびに中枢神経疾患を持つ対象者の動画から動作分析を行いその内容について議論する。

Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがありますので、通信量に十分に注意してください。

今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性があります。